

# 絵本と わたしの 物語展



2026年7月1日[水]～7月5日[日] **入場無料**

ウイングベイ小樽5番街2階 ※喜久屋書店向い

開場時間 1日[水] 12:00～20:00 2日[木]～5日[日] 10:00～20:00  
※入場は終了時間の30分前までとなります。

主催: 創価学会「絵本とわたしの物語展」小樽実行委員会 企画協力: 毎日新聞社 後援: 北海道新聞社・FMおたる

<https://ehon.tenji-kai.jp/>



# 絵本とわたしの物語展



これまで絵本は「子どものもの」と思われがちでしたが、今や多くの大人向け絵本が出版され、中高生や高齢者への読み聞かせも好評で、世代を超えた広がりを見せています。隠れた名作や世界の絵本など約250種600点を手にとって「読む」ことができます。また、絵本を読んだ子ども時代を振り返って、「語らいの弾む」空間も用意しました。子どもから高齢者まで「読んで」「語って」「参加して」、交流が深まる展示会を、どうぞお楽しみ下さい。

## 第一章 あなたの知らない絵本の世界

大人こそが楽しめる絵本、ナンセンス絵本、アートとしての絵本、高齢者にも読んでもらいたい絵本など、「絵本のイメージ」が一変するような作品を集めました。



### 3びきの子ブタ・赤ずきん

●おなじみの「3びきの子ブタ」や「赤ずきん」にも、いろいろなストーリーやパロディがあります。



### ワイルドスミス氏挿絵本

●池田SGI会長執筆、ブライアン・ワイルドスミス氏挿絵による4部作。原画も一部展示。



## 第二章 よみがえるわたしの物語

昭和・平成カ儿チャ年表

絵本を読んだ子ども時代を、当時の生活用品やおもちゃ、年表などを使って振り返ります。友人や、家族との語らいが広がるコーナーです。



●昭和30年代の家庭風景。茶の間の中心にはテレビがありました。



**ミリオンセラー絵本** ●子どものころ夢中になった、戦後のミリオンセラー絵本も、手にとって読むことができます。



## 第三章 体験・参加コーナー

物語の主人公はわたし

自ら物語の中に入って、楽しんでもらうコーナーです。



●『不思議の国のアリス』の世界に入り込んで、記念撮影をしよう！物語の主人公になって、「わたしの物語」を描いてみてください。  
●デジタル技術を利用した、『花咲かしいさん』の疑似体験コーナーもあります。

